



首都圏
自然歩道

関東ふれあいの道

栃木県

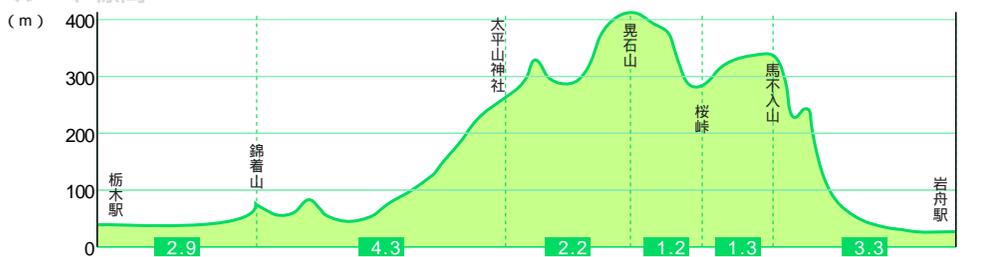
25 稜線をたどるみち 15.2km

栃木駅を出発し、市街地をぬけ、錦着山を經由して太平山神社に至ります。神社の横から山道を登ると、まもなく山頂に浅間神社があり、稜線伝いに歩くと、ぐみの木峠を経て晃石（てるいし）神社に着きます。山頂は神社からさらに登ったところにあります。

更に稜線を進むとヤマザクラの大木のある桜峠に出ます。ここは「かかしの里・ぶどうのみち」との交差点で、右に行くと村檜神社、左に行くと清水寺（せいすいじ）です。

雑木林のに囲まれた稜線を進むと、関東平野を一望できる馬不入（うまいらず）山に着きます。稜線を下り、右手に岩船山を眺めながら農道を進むと岩舟駅に到着します。

ルート標高



踏破認定撮影ポイント



てるいし 晃石神社

晃石の名の由来は、昔この山に夜ごとに光を発する不思議な石があったためと言われています。山頂は神社からさらに登ったところにあります。

問い合わせ

栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当
 栃木県南環境森林事務所 環境企画課
 栃木市役所 道路管理課
 大平町役場 産業振興課
 岩舟町役場 経済課

〒320-8501 宇都宮市壺田 1-1-20 TEL.028-623-3206
 〒327-8503 佐野市堀米町 607 TEL.0283-23-1441
 〒328-8686 栃木市入舟町 7-26 TEL.0282-21-2558
 〒329-4492 下都賀郡大平町大字富田 558 TEL.0282-43-9212
 〒329-4392 下都賀郡岩舟町大字 513-2 TEL.0282-55-7764

コース周辺の見所



錦着山

巾着の形に似ているからとも、また春には全山のツツジが満開となり、錦の着物を着ているように見えるところから名付けられたともいわれています。

山上にある護国神社は初代県令鍋島貞幹（なべしまていかん）が、明治 12 年（1879年）に建立したもので、栃木市及び下都賀郡内の戦没者の英霊が合祀されています。燈台は日露戦争の勝利を記念して建てられたものです。



太平山神社

天長 4年（827年）慈覚大師により創建されたといわれています。武將、諸人の崇敬が高く、特に徳川 3代将軍家光以来代々当社を崇敬しました。

神社拜殿の傍らに星宮神社があり建物が仏堂で、神仏混淆（こんごう）の名残となっています。神仏分離令以前は虚空蔵菩薩（こくうざうぼさつ）を祀っていました。



桜峠

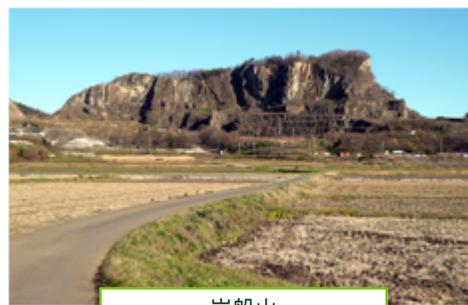
清水寺の背後の山全体に山桜の自然林が広がり、桜峠万本桜といわれています。花と同時に若葉も伸び出す山桜は派手さはありませんが一斉に咲くさまは見事です。



鷲神社

桃山時代に建立されると言われており、祭神は天日鷲命（あめのひわしのみこと）です。

「お酉様」とも呼ばれており、毎年旧暦 11月の初酉の日（現在は 12月第 1日曜日）にお祭りが行われます。



岩船山

山の形が船に似ていることからこの名前がつけましたが、現在では採石のため昔の面影はありません。

この岸壁では、チョウゲンボウやイソヒヨドリなどの珍しい鳥を見ることができます。